

● 12年ぶりの増補改訂版！郷土ゆかりの祭神(人物)と関連社寺を紹介！ ●

# 日本の祭神事典

## 社寺に祀られた郷土ゆかりの人びと 増補改訂版

日外アソシエーツ編 A5・720頁 定価16,280円(本体14,800円+税10%)  
ISBN978-4-8169-3097-3 2026年5月刊行



改訂にあたり  
見出し一覧(都道府県別)  
人名索引(時代・分野別)  
新設

- 日本各地で祀られている実在の人物と関連の社寺等を都道府県別にまとめた事典。『日本の祭神事典—社寺に祀られた郷土ゆかりの人びと』(2014.1刊)から12年ぶりの増補改訂版。
- 人物・社寺をのべ520件追加、収録見出し数はのべ1,575名・1,834社寺にのぼります。
- 古代から近現代まで、天皇・貴族、武士、軍人から市井の人物、外国人まで幅広く収録。人物の概略、祀られた神社・寺院等と所在地、その由来、祭神にまつわる祭礼や御利益もわかります。
- 巻頭に「見出し一覧」、巻末に「人名索引」2種(五十音順/時代・分野別)、「社寺名索引」、「事項名索引」付き。

### 【新規収録 人物例】

井伊直弼	江戸末期の大老、近江彦根藩主/白幡菅原神社(東京都)
一条信能	鎌倉時代の公卿/藍澤五郎神社(静岡県), 岩村神社(岐阜県)
伊奈忠次	戦国・江戸初期の武将, 関東代官頭/伊奈神社(茨城県)
小野妹子	飛鳥時代の遣隋使/小野妹子神社(滋賀県)
片倉景綱(小十郎)	戦国・江戸前期の武将, 伊達家家臣/神明社(宮城県)
加藤景廉	鎌倉前期の武将, 御家人/八幡神社(岐阜県恵那市)
加藤道光(道向)	戦国武将・小西行長の家臣, 菅平開発の祖/道光神社(長野県)
河原高直	平安後期の武士, 源頼朝の家臣/河原霊社(兵庫県)
金原明善	幕末から大正の治水・植林事業者/明善神社(静岡県)
籠手田安定	幕末・明治の平戸藩士, 滋賀県令・知事/水引神社(滋賀県)
酒井七左衛門	江戸後期の尾張藩北方奉行, 畑繁堤の築造を許可/畑繁神明神社(岐阜県)
蔣介石(中正)	初代中華民国総統/中正神社(愛知県)
谷時中	江戸時代前期の儒学者/清川神社(高知県)
丹後局	平安末・鎌倉初期の女性。一説に鳥津忠久の母/花尾神社・一之宮神社(鹿児島県)
徳川秀忠	江戸幕府第2代将軍/三方原神社(静岡県), 常磐神社(千葉県)
鳥居元忠	戦国・安土桃山の武将, 徳川氏家臣/精忠神社(栃木県)
西塘	16世紀・琉球の竹富島の技師/西塘御嶽(沖縄県)
秦河勝	7世紀前半の官人, 秦氏の族長的人物/大避神社(兵庫県)
森宗意軒	江戸前期の人物。島原の乱の指導者の1人/森宗意軒神社(熊本県上天草市)

### 【追加収録 社寺例】

晴明神社(福井県), 晴明神社(岐阜県), 名古屋晴明神社(愛知県)	安倍晴明
阿保天神社(兵庫県), 公光・業平の祠(兵庫県)	在原業平
小野神社(東京都), 矢大神社(福島県)	小野篁
朝倉神社(高知県), 恵蘇八幡宮(福岡県)	皇極天皇(齐明天皇)
飛騨天満宮(岐阜県), 大阪天満宮(大阪府), 菅原天満宮(奈良県)ほか	菅原道真
世良田東照宮(群馬県), 仙波東照宮(埼玉県), 鳳来山東照宮(愛知県)ほか	徳川家康
平田神社(東京都), 神明神社(岐阜県)	平田篤胤 ...etc.

■「内容見本」は裏面をご覧ください■

202603

お問い合わせは… **日外アソシエーツ 営業局**

**TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845**  
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <https://www.nichigai.co.jp/>

注 文 書	日本の祭神事典 —社寺に祀られた郷土ゆかりの人びと 増補改訂版	取扱書店
	定価16,280円(本体14,800円+税10%) ISBN978-4-8169-3097-3	
	冊	

## 内容見本

## 埼玉県

◇高橋新五郎(2代目) たかはしんごろう 寛政3(1791)年1月5日～安政4(1857)年6月25日

江戸時代後期の機業家。塚越結城織の祖。初代新五郎が木綿糸綿商売を始めたのを引きつぎ、文政8(1825)年頃に機台を改良して新高機を発明し、精巧な青縞の織出しを開始。文政9(1826)年7月7日、2代目新五郎の夢枕に東照大権現(徳川家康)が現れ、織物業を勧められたことから機業を興した。商号を「東屋」とし、改良した織機は「東屋高機」と呼ばれた。次第に生産規模が拡大し、天保年間(1830～43)には機台100台余、藍甕300余、弟子や孫弟子の機屋も数百名を数えたといわれる。天保11(1840)年に隠居。没後、妻いせとともに機祖神として祀られた。(出生地)武蔵国足立郡塚越村(埼玉県蕨市) (別名)高橋新五郎数馬

(祀)機神社 はたじんじゃ (所在地)埼玉県蕨市塚越3-2 塚越稲荷神社境内社

塚越三鎮守の一つ、塚越稲荷神社の境内にある。社殿内に、機祖神・高橋新五郎夫妻と徳川家康(関東大権現/東照大権現)の神像を収める(ともに蕨市指定文化財)。当社は、高橋吉右衛門(宝永5(1708)年没)が勧請した関東大権現社にはじまる(「吾妻社」「関東宮」とも)。戦前(大正時代か)、高橋新五郎夫妻を機祖神として相殿に祀り、「機神社」と改称。「機神様」と呼ばれ、織物業の繁盛を願い信仰された。社殿前の石鳥居は、新五郎が嘉永5(1852)年に寄進、「機屋繁栄」の文字が刻まれている。昭和49(1974)年、機神社を「高橋新五郎遺跡」として蕨市指定文化財に指定。新五郎が織物業を始めた日として伝わる8月7日には、機神社に参拝する「機まつり」が行われている。また、8月第1週には、蕨駅前通りが七夕装飾で彩られる市内最大の祭り「わらび機まつり」を開催している。

(祭神)高橋新五郎いせ、関東大権現(徳川家康)

## 大阪府

◇豊臣秀吉 とよとみひでよし 天文5(1536)年1月1日～慶長3(1598)年8月18日

安土桃山時代の武将、関白太政大臣。百姓弥右衛門の子、母はなか(天瑞院)。はじめ松下之綱に仕えたが、のち織田信長に仕える。永禄9(1566)年墨股城を預けられたのをきっかけに、岐阜城攻めなどで功をあげ、累進して羽柴姓を名乗る。姉川の戦いや比叡山焼き討ちなどで活躍し、浅井の旧領を与えられ長浜に築城。信長から中国攻めを命ぜられて各地を転戦し、天正10(1582)年備中高松城を水攻めしていたところ本能寺の変が起こり、急遽毛利側と和睦して兵を返し、山崎で明智光秀を討つ。後継者を定める清洲会議で、織田信忠の子三法師を織田家の家督に推したため、織田信孝、柴田勝家と対立。賤ヶ岳の戦いで柴田勝家を破って北陸を平定し、小牧・長久手の戦いで徳川家康を臣従させ、天正13(1585)年紀伊、四国を平定して関白となり豊臣姓を受ける。翌年には太政大臣となり、九州を平定、天正18(1590)年小田原征伐、奥州平定も成功させて天下統一をはたした。この間にも領地の刀狩や検地を実施して兵農分離を進め、主要鉱山を直轄とするなどにより支配体制を強化していった。天正19(1591)年関白を甥の豊臣秀次に譲る。文禄1(1592)年および慶長2(1597)年に朝鮮と明の征服を策して出兵するが成果を得られぬうち、翌年伏見城で病没した。

(出生地)尾張国(愛知県) (別名)羽柴秀吉(はしばひでよし)、羽柴筑前守(はしばちくぜんのかみ)、木下藤吉郎(きのしたとうきちろう)

(祀)豊国神社 ほうこくじんじゃ (所在地)大阪府大阪市中央区大阪城2-1

明治12(1879)年創建。豊臣秀吉、秀頼、秀長を祀る。明治1(1868)年、明治天皇が大阪に行幸の際、豊太閤を、大阪に奉祀するようこのことから、京都の阿弥院峯墓前を本社とし、中之島字山崎の鼻(中央公会堂の地点)に別格官幣社豊国神社として創立。大正1(1912)年府立図書館前の公園内に移転。大正10(1921)年別社から独立して府社に列し、豊国神社と改称。昭和36(1961)年太閤ゆかりの大阪城二の丸跡に遷座。

(祭神)豊臣秀吉公、豊臣秀頼公、豊臣秀長卿

◇豊臣秀長 とよとみひでなが 天文10(1541)年～天正19(1591)年1月22日

安土桃山時代の武将、豊臣秀吉の異父弟。秀吉の異父弟、母は天瑞院。秀吉の片腕的存在として活躍し、紀伊平定、四国平定などで功をあげ、大和、紀伊、和泉、伊賀などに合わせて百万石余を領し、大和郡山を居城としていたことから大和納言と称される。温厚な性格で、兄の補佐役として統一事業を助け、豊臣政権下で「内々の儀は千利休、公儀は秀長」といわれるほど重きをなしたが、島津制圧を成した頃より発病し、郡山城で病死した。(出生地)尾張国(愛知県) (別名)羽柴秀長(はしばひでなが)